



平成24年 4月15日

- 2〜3面 防災く宮本自治会活動
- 4面 高齢者講座
- 上大島文化祭
- まつかわ大学募集
- 青年の家だより
- スポーツ・情報
- ひと・すぼと
- 俳句短歌・町史探訪の会募集
- 桜の写真・べんべん草
- 8面
- 7面
- 6面
- 5面



まつかわ百景 ⑥

「ようやく開花」

低温の日が続き、例年なら3月中に開花することもあるこの木もようやく開花した。町内各所の名木はまだつぼみだ。(4/12)

真白な雪を頂いた中央アルプスが目の前に輝き、鳥たちのさえずりが賑やかに響き渡りました。すばらしい眺望、豊かな自然、厚い人情に恵まれた部奈を愛し、少しでも良いかたちで子孫に伝えていきたいと考えております。

主張

遊びに行きたいと言ってもらえる集落づくり

部奈地区里山整備利用推進協議会が

「南信州地域づくり大賞」知事賞受賞

この時期、区でも道路脇などへの桜、花木の植栽を行いました。平成18年、県の里山整備利用推進地区の指定を受けるための地区の団体を網羅した「部奈地区里山整備利用推進協議会」（会長 伊藤頼人氏）を設立し、県の第一号として指定されました。その後、

まず、受賞に至る足取りをまとめておきます。平成14年、10人ほどの有志が集まり「部奈さとやま自然園」の間伐を行い、慰労の席で公園集落「アルプスビューファームズ部奈」構想が作られました。そのコンセプトは「遊びに行きたいと言ってもらえる集落づくり」で具体的には「部奈の長所である眺望、自然、史跡、石仏、古木、人情などを活かして「公園のような集落」にしようと言うことです。その後拠点となる公園として、さとやま自然園、展望公園、桃の井城跡公園などの整備、花の植栽等を行ってきました。

真白な雪を頂いた中央アルプスが目の前に輝き、鳥たちのさえずりが賑やかに響き渡りました。すばらしい眺望、豊かな自然、厚い人情に恵まれた部奈を愛し、少しでも良いかたちで子孫に伝えていきたいと考えております。

代表 北林 基

防災活動を通じて深まる絆

高まる防災意識 宮本自治会



昨年3月の東日本大震災、
栄村の震災から13ヶ月が過ぎ
ました。

震災では、予想外・想定外
の被害が起きてしまい、震災
後には多くの地域で防災対策
が見直されています。

松川町の各自治会でも平成
23年度は防災関係に力を入れ
てきました。

今回は、宮本自治会の行っ
ている防災活動を例にとって自
治会の防災対策を紹介します。

震災から学ぶ 自治会防災の強化

宮本自治会では、震災
の教訓・問題等を受けて、
23年度は防災関係の強化
に取り組んできました。

自治会防災組織の見直し

自治会員の20歳以上で
組織されています。各班
に班長、副班長がいます
が、災害時に即対応でき
るように平日昼間に活動
できる方が各班に必ず入っ
ています。

また、班員も日中不在
者を調査して、平日昼間
でも活動ができるように
振り分けています。



ハザードマップ 各家庭に配られた

自主避難困難者の調査

世帯調査を実施し、要介
護者等の把握を行いました。そ
して、本人と相談して避難方
法を選択してもらいました。

ハザードマップの作成

急傾斜地やブロック塀など
の危険地帯や、消火栓、貯水
池といった防火設備を一目で
わかるように地図に示しまし
た。また、各組合の1次避難
所の場所や、2次避難所（集
会所）までの経路もこのマッ
プで確認できるようになって
いて、それを各戸に配布しま
した。

平成23年度 宮本自治会防災部組織表

本部	防災部長	総括班(本部班)	非常時	警戒宣言の伝達、誤報等デマ防止、町・区・地元消防団との連絡 各種災害情報の収集・伝達、避難命令の伝達、会員の安否確認
		班長 副班長	平常時	地震その他の災害に関する情報の収集、伝達方法の確立 必要資機材の調達、緊急対応マニュアル・防災マップの策定 防災意識の高揚活動(放映・チラシ・講演会)、防災訓練の計画と実施統括
	防災副部長	消火・救出班	非常時	初期消火活動、延焼防止、緊急車両誘導 負傷者の救出と医務機関・救護所への搬送
		班長 副班長	平常時	消火器・消火栓の訓練、バケツリレー等の初期消火訓練実施 地域内の消火栓・水利等の点検、救出訓練の実施
	自治会長	避難誘導班	非常時	避難誘導、住民の把握(安否確認) 老人・障害者等要介護者の保護
		班長 副班長	平常時	避難場所・避難路の点検、避難訓練の実施 要介護者(老人・病弱者・障害者)の把握
	副自治会長	救護・衛生班	非常時	負傷者の救護と医務機関・救護所への搬送(救急車手配) 要介護者の救護 衛生環境の確保、感染症予防措置
		班長 副班長	平常時	医療品の調達、救護に必要な用具の調達 救護技術の習得、救護訓練の実施
		給食・給水班	非常時	食料の炊き出し 生活必需品の調達 救援物資、物品の確保と配分
		班長 副班長	平常時	各家庭の非常食・飲料水等の備えの指導 災害時における給食・給水計画立案、炊き出し訓練の実施

防災設備の強化 集会所の震災対策

宮本自治会は集会所を第2避難所としています。町からの補助金を活用して、防災倉庫を設置し簡易トイレ等を保管しています。また各家庭に1つヘルメットの数を増やしてはヘルメットの数を増やしていきたいとの事。

自治会内の貯水槽の調査を行い「水」の確保。現在の井戸は電気でも水を汲みあげている為、非常時には使えない可能性があります。

集会所内も家具の固定の他にも、窓にフィルムを貼り、賞状が落ちないように固定し震災に備えています。



賞状が落ちないように固定

7月24日、松川町の防災訓練が行われました。町の訓練は、水害を想定した内容でしたが、宮本自治会では町の訓練終了後自治会の訓練として各組合ごとに決められた1次避難所から2次避難所となる集会所への移動、怪我人の搬出訓練、消防団協力のもとバケツリレーが行われました。自治会住民225名約8割の方が参加された訓練でした。

防災訓練 避難所移動・怪我人の搬出・バケツリレー



統括班 安否確認や災害状況を確認



2次避難所へそろって移動



救護班 ケガ人の手当をする



救出班 負傷者救出のためタンカを持っていく

使わなくなった釜を 持ち寄って 炊き出し訓練

11月8日、給食・給水班が主体となって炊き出し訓練が行われました。

住民の高齢化が進んでいる中で、助けを求めて移動するのが困難になった時を想定し「助けを待つ」時の食の確保として行われました。家庭より、使わなくなった



バケツリレーで消火



釜をもちよりに始められました。しかし、釜で米を炊くのは数十年ぶりのことなので、芯が残ってしまいました。塩を入れて炊くと、おにぎりの味が付けがいらぬそうです。使用された釜は現在、防災倉庫の方に保管されています。

今できる事を

宮本自治会では、ヘルメットを増やしたり防災頭巾を用意するなど、今年度も設備を整えたいとのことで、各班で会議を開き計画しています。

会議を通じて班員の交流を、訓練を通じて住民同士の信頼を深めています。

1度に全ての計画を実行するのは不可能ですが、できる事から順番に進めていきたいとのことです。

(取材担当：編集部 松下)

● 第4回 高齢者講座

笑顔の輪でつながって

3月8日(木) 1時〜 中央公民館大会議室

町の公民館の入口には、笑顔で話しながら多くの皆さんが集まって来ました。高齢者施設の職員の方も、車イスを押しながらエレベーターへと向かって行きます。



歌いながら体操で体をほぐしましょう

高齢者講座会場の大会議室は、これから始まる劇団「赤門」の皆さんの演目を楽しみに集まった方達でいっぱいになりました。

立姿もダンディーな司会者が劇団の紹介をしたあと、大正琴の伴奏に合わせて合唱し講座がスタート。

大きな独楽が手の平や傘の上でまわり最後には刀の刃の



筑波山名物、四六のガマの油でございます。



さても南京玉すだれ。お目にとまれば…

上で見事にまわりました。大人もタジタジの腹話術の福ちゃん、詩吟にあわせて舞うキリリとした舞姿。続いて耳なじみのガマの油売り。四六のガマの油が本当に効きそう。お座敷小唄に合わせて身



かわいい福ちゃんとおしゃべり



矢沢館長と塩沢前館長。手品に挑戦中です。

体が動かしリラックスした後は参加者も挑戦したマジック教室。皆さんなかなかのお手並でした。その後も軽妙なりズムのつての南京玉すだれがあり、最後は全員合唱の「故郷」でしめられたのです。老人大学の卒業生でつくられた劇団「赤門」。数々の演目は玄人はだしのものばかりで、大満足の参加者からは惜しみ無い拍手がおくられました。笑顔いっぱい楽しいひとときでした。



かわいい手芸に思わず前のめり



力作の数々

4日(日)午後1時より演芸の部があり、力強い太鼓や、ユニークな踊りなど、ステージいっぱいになり広げられ、楽しい午後のひとときとなりました。

平成23年度上大島文化芸能祭が、3月3日(土)、4日(日)、5日(月)の3日間上大島公民館において開催されました。展示の部は、3日間開催され、絵画、写真、手芸など数多くの作品が訪れる人を魅了しました。

なごやかな午後のひととき

上大島文化祭

3月3日・4日・5日 上大島公民館



地元出身の芸人 松尾派出所前アトム



太鼓一芸楽人のキッズ達



母校の誇りをもって大根おどり!!



ローズマリーの会の皆さんによる太極拳

まつかわ大学

第7期生募集

多彩な講師をお招きします。楽しみながら一緒に学んでみませんか！

講座1

5月26日(土)

「地域社会に根ざした 人間中心の経済」

講師：内橋克人氏
(経済評論家)

時間：13:15~15:00

講座2

8月18日(土)

「消された街、広島」

講師：瀬木正孝氏
(広島被爆者援護会理事長)

時間：13:30~15:00

講座3

12月1日(土)

「天地いっぱいにかざされて」

講師：青山俊董氏
(塩尻市無量寺東堂)

時間：13:30~15:00

講座4

2月23日(土)

「笑う門には福来たる！」 ～落語で癒そう心のストレス～

講師：柳家小団治氏
(落語家)

時間：13:30~15:00

- 入学金……年間1,500円(ただし、受講登録は町民のみとなります)
- お問い合わせ先 中央公民館 電話36-2622

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

セミの観察会 (その七)

セミの観察会

松川青年の家の周りにはいろいろな草や木が育つ森が広がっていて、そこにはチョウやバッタ、セミやトンボなどさまざまな虫がすんでいます。私たち青年の家ではこの虫たちを観察する講座を夏や秋に行っています。その中から、梅雨が終わり真夏の太陽が照りつけ始める7月下旬に行つ「セミ・カブトムシ・ホタル」の観察会について紹介しましょう。

当地では木々の若葉が新緑から深緑へと変わろうとする頃、森ではハルゼミが鳴き始め、セミたちの一年が始まります。やがて、梅雨の後半になるとニイイゼミとヒグラシ、それから少し遅れてアブラゼミとエゾゼミが加わり、ぎやかなセミの季節の到来です。木の幹や木の枝先にしっかりと捕まってぶら下がっているセミのぬけがらが目立つようになると、この時期です。セミの観察会は天気の良い日、夕方



から夜にかけて行われます。参加者はまず、明るいうちに土の中から出てきて地上や木の幹を這っているセミの幼虫を見つけてその姿や歩く様子を観察します。しばらくの間周りの林で別の幼虫を探した後、再び最初の場所に戻ってみると、幼虫の背中の固い殻が割れ、よいよ成虫の誕生の始まりです。割れ目からゆっくりに出てくる成虫に、参加した子どもたちは「がんばれ、がんばれ」と声をかけたり「イナバウアーにそっくりだ」といって喜んでしまいます。長い時間をかけて出てきた成虫の羽は透き通っていて、しわくちやですが、しばらくするとピンと伸びて、りっぱなセミの体になります。

長い間土の中で過ごしていたセミの幼虫がほんの数日間地上で生活をするために、大変身するこの羽化という営みは、セミにとって最大イベントに違いありません。それは実に神秘的であると同時に生命の素晴らしさを感じるシーンでもあります。その場に居合わせた参加者はセミたちから大きな感動をもたらして、暗い夜道を帰っていかれます。

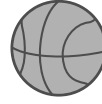


春の気配を感じて スポーツ

平成23年度
飯伊ミニバスケットボール
選手権大会

2月26日(日) 飯田市鼎体
育館にて平成23年度飯伊ミニ
バスケットボール選手権大会
が開催されました。
松川町の結果は次のとおりで
す。

男子の部 準優勝
女子の部 準優勝



松川町男女別ダブルス
バドミントン大会

3月11日(日) 松川町民体
育館にて男子22チーム44人、
女子25チーム50人が参加して
松川町男女別ダブルスバドミ
ントン大会が開催された。
結果は次のとおりです。

〈男子の部〉
Aブロック

優勝 佐々木章吾
中島 伸

〈シヨイフルB・C〉

準優勝 中川 昌弘

桃沢 佳吾

〈シヨイフルB・C〉

第3位

林 元彦
下島 大明
(福与B・C)

Bブロック

優勝 木村 壮一
北林 翔太
(福与B・C)

準優勝

松上 勇
池上 佳弘
(福与B・C)

第3位

菅沼 直樹
広沢 年彦
(福与B・C)

Cブロック

優勝 大沢 創
知久 芳樹
(上片桐B・C)

準優勝

中島 和人
林 宗広
(シヨイフルB・C)

第3位

橋本 誠
木下 清
(福与B・C)

〈女子の部〉
Aブロック

優勝 林 加菜子
宮下 彩夏

〈シヨイフルB・C〉

準優勝

山岸 祐子
高田 奈々未
(体協B・C)

第3位

松上 霞
北沢 紗南
(松川町J・B・C)

Bブロック

優勝 北沢 真希
森下 淳子
(シヨイフルB・C)

準優勝

唐澤 裕子
二村 佳子
(シヨイフルB・C)

第3位

大沢 祐子
小池 敬子
(上片桐B・C)

Cブロック

優勝 林 慧里
森脇 彩理
(松川J・B・C)

準優勝

横田 幸子
林 美奈子
(上片桐B・C)

第3位

松下 恵美
松下 睦規
(名子B・C)



弓道教室の 開催について

近年、生涯スポーツとして弓道の愛好者が増加して
います。弓道は人間形成を大きな目標としており
ます。修練は自己を律し、妥協を許さぬ意思が大切
です。

「礼」に始まる武道が、青少年健全育成の観点か
ら注目されています。

年齢に関係なく始められ、男女の区別もありません。
また、高齢になっても続けられます。この機会
に大勢の方にご参加いただき私たちと一緒に健康増
進に努められるようご案内を申し上げます。高校や
大学で弓道に親しんでいて、今休止している方も是
非ご参加ください。

松川町弓友会 会長 宮下 真人

- 主 催：松川町弓友会
- 共 催：松川町公民館
- 対 象 者：松川町民、松川町在勤者、
学生（中学生以上で保護者の同意書が必要）
- 日 時：5月11日(金) より
毎週月曜日・金曜日 19:00~21:00
- 場 所：松川町弓道場（町民体育館東側）
- 持 ち 物：トレーニングウェア又は胸にボタンのない
シャツ
(弓具は弓道場にありますが)
- 申 込 先：松川町中央公民館
- T E L：36-2622
- F A X：36-6620
- 申込締切：5月9日(水)
- そ の 他：①申込書は公民館にあります。
②締め切り後でも参加できます。
月・金の空いた時間に参加しても
よいです。





文字を書く大切さ楽しさを伝えたい 佐々木嵩紫さん(名子原)

第21回公募日本習字展にて9万3千点以上の応募の中から、硬筆・ペン字部門において特別賞の観峰大賞を受賞された佐々木さん。嵩紫は書道の時に使っている雅号です。小さな頃から書道を続け、



17年前から書道教室を始めて、現在5歳から80歳まで100名程の生徒を指導されています。

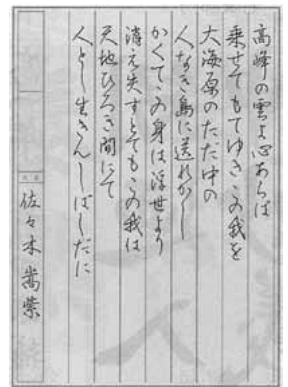
「書に関心を寄せる一人でも多くの方の『書との出会いの扉』を開く一助となれるよう、『心の通う温かい教室』をモットーに、今後もし引き続き自らが書学に励んでいきたい。」と話してくださいました。

文字を書く事が少ない時代。子どもたちにも書を好きになつてもらいたいという思いがあり、自らも月に一度程、師事し

明治13年には千葉県成田山新勝寺より不動明王をお迎えして以降、蚕玉大神等諸神をお迎えし上・下伊那から多くの信仰を集めました。

すぽと 桜山不動尊200年祭

南アルプスが一望でき、マレットゴルフのコースや桜の名所として有名な桜山不動尊ですが、200年祭という節目を迎えて、農耕の守護神として長きにわたり地域と密接



受賞された作品

ている先生の指導を受け励んでいます。

今回の習字展では個人の大大賞と、優秀な生徒が多い教室に贈られる奨励賞も受賞されました。

多くの生徒が中学・高校卒業まで継続して習っていて、佐々木さんの書に対する思いが生徒に伝わっていることを感じました。

つながりのある大事な位置づけであることを再認識しました。

短歌

森下延子(諏訪形)

三センチの毬藻のごとき栗の実の枝をそよがす風に秋あり

朝な朝な物干し台の定位置に
我を待ちいるあをき子蛙

帰省したる息子の使う草刈機
音は人並に白昼響く

日記書く夫は午前の出来事を
増して頼りなき我に尋ねる

身も心も燃ゆることなくなりし今
キッチンすらもIHとなる

俳句

さくら餅

鋤柄郁夫(宮坂)

竹の子よ揺れる大地で眠れたか

さくら餅新任教師集いたり

草笛で同級会は生まれり

浮草の人生模様に揺れにけり

チューリップ百花百光風の中

町史探訪の会 会員募集!!

町の公民館では、松川町史探訪の会で一緒に活動する仲間を募集しています。

①活動内容

- ・松川町史の読み合わせ
- ・チャンネルYOU製作「時の旅人」(ヒデオ)観賞
- ・マイクロバスでの史跡探訪

②活動日

月に1回

※原則毎月第2金曜日
夜6時00分から7時30分

③場所

資料館視聴覚室

④この会の魅力

- ★読み合わせだけでなく、実際に現地を探訪します。
- ★資料館の酒井さんと一緒に読み進めていくため、わからないことやききたいことをその場でできることがあります。
- ★読むことが苦手という方も、まったく問題ありません。

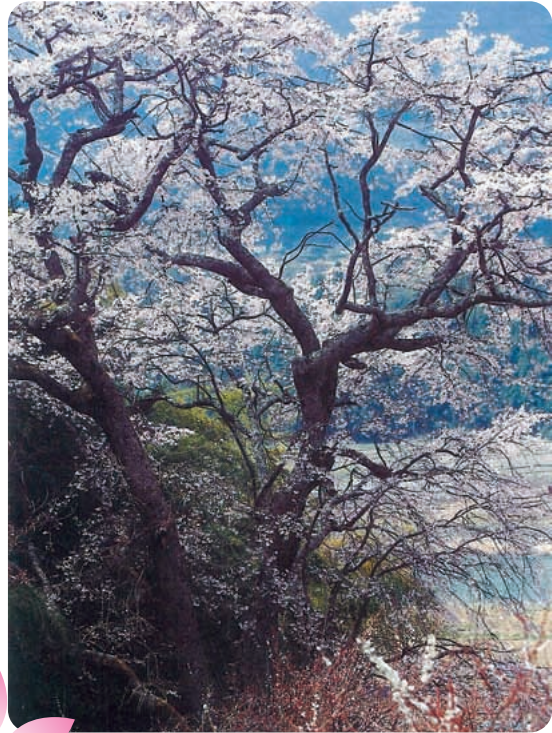
★読むことが苦手という方も、まったく問題ありません。

申込・お問い合わせ先
中央公民館

☎: 3612622



御射山神社の桜 (館報第534号より)



円満坊の桜 (館報第486号より)

今年は桜の開花がいつもより遅く、春が待ち遠しく感じました。そこでこれまでの館報の中から町内の桜を少しだけ紹介します。



妙泉寺の桜 (館報第510号より)



松川中学校 校庭の桜 (館報第558号より)

公民館報
「まつかわ」
第 582 号
平成24年4月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

世の中には良い事も多いように感じる。晴れの日が多いから雨の日が目立つように、楽しい事や良い出来事が多いから、悪い事・不便な事が目に付いてしまうように思う。

(松下佳史)

しかし、多くの壁ばかりでなく、世の中には良い事も多いように感じる。晴れの日が多いから雨の日が目立つように、楽しい事や良い出来事が多いから、悪い事・不便な事が目に付いてしまうように思う。

もうすぐ開業する東京スカイツリーも、首都圏の電波問題の解消の為だから、歴史的な物の誕生にも社会問題があり、普段している仕事でも、利益を得る為にはさまざまな問題に突き当たる。世の中が便利になる為には、問題となる壁が多く感じてきてしまう。

また、車の免許を持つ人も年々増えている訳だから、世の中に走る車の量も増えている。新しい道路ができて車が増えているのだから、極端な時間短縮になる訳でもなく、便利になる為よりも問題解消の為に物が作られるように思えてしまう。



地方では、車社会が拡がる中で、若者の車への興味の薄れ、車離れ：車好きな私にとっては、残念な世の中になってしまったが、これだけ生活必需品になってしまつと興味などの要素は無くなつてしまつのかも知れない。